

農 政 課

平成 26 年 5 月 31 日現在における平成 25 年度の予算及び事務事業の執行状況について、定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、農政第 1 係 5 人、農政第 2 係 5 人、畜産係 3 人、耕地係 5 人の計 19 人である。

このほかに農政第 1 係に生活改善センター指導員として嘱託職員 3 人、農政第 2 係に嘱託職員 1 人、耕地係に臨時職員 1 人が配置されている。

2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 2 億 9,490 万 3,000 円に対し、調定額及び収入済額共に 2 億 7,336 万 2,209 円で、収入率は対予算 92.7%、対調定 100.0%となっている。

収入済額の内訳は、分担金及び負担金 123 万 748 円（土地改良施設維持管理適正化事業拠出金、県営ため池整備事業地元負担金、農地・農業用施設災害復旧事業分担金）、使用料及び手数料 309 万 5,870 円（生活改善センター使用料、農畜産物処理加工施設使用料、布計地区多目的集会施設使用料ほか）、県支出金 2 億 2,347 万 1,023 円（中山間地域等直接支払交付金、農業者経営所得安定対策推進事業補助金、中心経営体等施設整備事業補助金、農業・農村活性化推進施設等整備事業補助金、環境保全型農業直接支援対策事業補助金、活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金、肉豚生産効率事業補助金、農地集積協力金交付事業補助金、青年就農給付金事業補助金、農地・農業用施設災害復旧事業補助金ほか）、財産収入 1 万 1,730 円（中山間ふるさと保全対策基金切替利息、肉用牛特別導入基金普通預金利息ほか）、寄附金 154 万 2,323 円（共進地区揚水ポンプ電気使用料ほか）、繰入金 146 万 5,110 円（肉用牛特別導入基金繰入金国庫精算返納分）、諸収入 1,954 万 5,405 円（土地改良施設維持管理適正化事業交付金、畜産基盤再編総合整備事業地元負担金、農業・農村活性化推進施設等整備事業負担金ほか）、市債 2,300 万円（村づくり事業過疎債、現年発生単独災害復旧事業債ほか）である。

一方歳出は、職員の給与費を除く予算現額 7 億 3,629 万 8,000 円に対し、執行済額は、7 億 298 万 9,540 円で、執行率は 95.5%である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

(1) 労働諸費

執行済額は 547 万 5,857 円で、起業支援型地域雇用創造事業の委託料（伊佐産深ネギ周年栽培研究事業業務委託）である。

(2) 農業振興費

執行済額は 2 億 8,602 万 68 円で、生活改善センター指導員や農業振興推進嘱託員の報酬 406 万 8,000 円、人・農地プラン検討会や伊佐ブランド認証委員会、

伊佐ブランド[®]認証伊佐米部会審査会、伊佐市食育推進協議会の委員報償費 9 万 7,600 円、伊佐米販売促進活動等の旅費 164 万 4,870 円、需用費 626 万 5,089 円（消耗品費 273 万 4,176 円、燃料費 113 万 2,245 円、印刷製本費 40 万 9,185 円、光熱水費 188 万 6,256 円、修繕料 10 万 3,227 円）、役務費 110 万 9,984 円（通信運搬費 72 万 9,328 円、広告料 24 万円ほか）、委託料 1,048 万 2,045 円（農振農用地地図システム保守業務委託料 21 万円、生活改善センター浄化槽管理業務等の委託料 75 万 4,845 円、地域力発信施設可能性調査業務委託料 165 万 9,000 円、伊佐ブランド推進マネジメント業務委託料 299 万 2,500 円、伊佐米宣伝広告業務委託料 460 万 3,200 円ほか）、かごしま遊楽館会場使用料等の使用料及び賃借料 11 万 500 円、米成分分析計などの備品購入費 155 万 5,135 円、野菜価格安定対策事業負担金、伊佐農業公社負担金、大口地方卸売市場管理組合負担金、中山間地域等直接支払制度交付金、むらづくり整備事業補助金、ごぼう・金山ねぎ面積拡大事業補助金、かぼちゃ新規栽培助成事業補助金、水田農業確立推進活動事業補助金、農業者経営所得安定対策推進事業補助金、伊佐ふるさとまつり補助金、伊佐農業公社無人ヘリコプター操縦資格取得補助金、農業制度資金利子補給補助金、経営体育成交付金事業補助金、農業農村活性化推進施設整備事業補助金、活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金、新規就農者育成支援事業補助金、農地集積協力金、麴用米生産拡大事業補助金などの負担金補助及び交付金 2 億 6,060 万 5,345 円などである。

(3) 畜産業費

執行済額 6,666 万 9,499 円で、県畜産共進会等への出品報償費 34 万 5,000 円、伊佐市畜産共進会負担金、伊佐市子牛購買者対策協議会負担金、畜産基盤再編総合整備事業負担金、優良種雌牛保留導入事業補助金、牛舎施設整備事業補助金、肉用牛防疫対策事業補助金、肉豚生産効率化事業補助金等の負担金補助及び交付金 6,483 万 2,528 円、償還金利子及び割引料 146 万 5,110 円（肉用牛特別導入基金国庫支出金精算返納金）などである。

(4) 農地費

執行済額は 3 億 1,006 万 7,019 円で、需用費 317 万 4,168 円（消耗品費 26 万 2,560 円、揚水ポンプ電気料の光熱水費 283 万 1,608 円ほか）、委託料 1,014 万 3,000 円（五反田地区用排水路施設整備事業計画書作成業務委託ほか）、工事請負費 483 万円（土地改良施設維持管理適正化事業、共進地区開閉機修繕工事）、県営農業農村整備事業負担金、農地・水保全管理支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金、市単独土地改良事業補助金、土地改良区施設維持管理助成事業補助金、農林漁業資金償還補助金（県営ほ場整備事業）等の負担金補助及び交付金 2 億 9,164 万 9,611 円などである。

(5) 農道整備事業費

執行済額は 992 万 1,800 円で、道路補修作業員等賃金 50 万 4,000 円、伊佐広域農道除草作業業務委託の委託料 71 万 1,900 円、ふるさと農道大田山野線安全施設設置工事や広域農道曾木地区道路舗装補修工事等の工事請負費 700 万円、農道等補修用原材料費 82 万 3,600 円（生コン代ほか）、農道台帳管理賦課金の

負担金補助及び交付金 70 万 8,500 円などである。

(6)山村振興等農林漁業特別対策事業費

執行済額は 10 万 2,068 円で、需用費 4 万 7,068 円（布計多目的集会施設電気料）、全国山村振興連盟負担金の負担金補助及び交付金 5 万 5,000 円である。

(7)水産業振興費

執行済額は 79 万 3,226 円で、臨時職員の賃金 10 万 6,000 円、需用費 3 万 5,976 円（轟水門電気料 2 万 976 円ほか）、轟公園魚道用調整樋門管理業務委託料 4 万 7,250 円、川内川上流漁業協同組合運営補助金等の負担金補助及び交付金 60 万円などである。

(8)農林施設災害復旧費

執行済額は 2,394 万 3 円で、災害補修作業員賃金 17 万 5,000 円、需用費 23 万 4,471 円（消耗品費 22 万 6,590 円、印刷製本費 7,881 円）、農地・農業用施設災害測量設計業務等の委託料 502 万 1,210 円、前目春園地区市単独災害復旧工事、荒田後庵地区単独災害復旧工事、馬渡仮屋地区単独災害復旧工事、田原下田地区（水路）災害復旧工事等の工事請負費 1,801 万 2,775 円、災害補修用原材料費 47 万 547 円（生コン代）などである。

3 事務事業の執行状況

当年度執行された主な事務事業は、次のとおりである。

事務事業名	執行済額 (円)	事務事業の内容
起業支援型地域雇用創造事業	5,475,857	失業者の雇用確保・生活の安定、委託先の企業の成長・安定的な雇用の受け皿を創出するために、新規雇用に深ネギの基礎的な栽培技術研修を行い、周年栽培の調査研究を目的とする業務委託を実施した。 新規雇用者：3人 委託企業：ドリームファーム(株)
むらづくり事業	19,601,000	集落、地区単位で組織するむらづくり推進委員会・自治会（補助対象件数 76 件、補助対象組織 59 組織）を支援し、地域の課題解決を行った。
園芸振興事業	1,968,652	伊佐ブランドとして高い評価を得ている金山ねぎ・かぼちゃ・ごぼう等の園芸作物の更なる振興を図り生産面積拡大を目指すため、関係機関との連携で一体的な推進を図るとともに、品質向上及び生産量を確保し、販路拡大による農業所得の向上を図った。 金山ねぎ面積拡大事業：8件 ごぼう面積拡大事業：5件 かぼちゃ新規栽培助成事業：7件 園芸振興事業：1件

米生産調整推進事業	9,430,000	米をめぐる情勢の厳しい状況に的確に対応するため、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付すること（農業者個別所得補償制度）で、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、多様な需要に応じた消費者に支持される米作りに努め、稲作農家の経営安定を図った。
野菜価格安定対策事業	8,572,813	伊佐市で生産される金山ねぎ・かぼちゃの価格保証を実施して、生産者の経営安定と地域銘柄確立を図った。
農政団体等負担金・補助金事業	2,862,000	市内の農政関係機関の長及び生産者の代表者が一堂に会して、伊佐地域の農政推進の基本方針を協議策定し積極的に推進した。 負担金：始良伊佐地域農政推進協議会負担金 伊佐農林高校農林業後継者育成協議会負担金 補助金：市制5周年記念 2013伊佐ふるさとまつり
伊佐農業公社運営費補助事業	8,436,000	農業公社は今後の伊佐の農業の核として、農地保有合理化事業、農作業受委託事業、後継者育成事業を実施しており、伊佐広域堆肥センターも公社の1事業として運営している。これらに必要な運営経費を助成した。
生活改善センター管理運営事業	5,661,350	利用者の農産物加工技術の習得並びに農村生活の改善に関する研修及び利便に供するための施設管理を行った。 ・大口生活改善センター 3,476,780円 ・菱刈生活改善センター 2,184,570円
中山間地域等直接支払制度	104,948,373	平地に比べ自然的・経済的・社会的条件が不利である中山間地域において、平地の生産コストの8割相当の交付金を交付することで農業生産の維持を図り、耕作放棄地の防止、水源涵養機能・洪水防止機能等の多面的機能の確保を目的として実施した。 ・交付金 104,122,373円 ・推進費 826,000円 (国 52,061,176円 県 26,030,579円 市 26,030,618円)
経営体育成交付金事業	31,589,500	人・農地プランを作成した地域の中心経営体が、経営規模拡大等の多角化に取り組むために必要な施設・機械の融資による導入について支援した。 人・農地プラン地区（7地区） 融資による機械等の導入支援（15経営体） ・融資主体型補助金：事業費 81,703,345円 (国 23,865,000円 融資 57,050,000円 その他 788,345円) ・追加的信用供与：事業費 7,353,000円 (国 7,353,000円) ・市町村事務費：360,000円 (国 159,000円 市 201,000円)

<p>農業農村活性化推進施設整備事業</p>	<p>16,503,000</p>	<p>農業者の減少・高齢化や国際化の進展も相まった産地間競争の激化などの課題に対応する施策の推進が求められ、時宜の課題に的確に対応した重点化を図り、農業・農村の活性化を総合的に推進した。</p> <p>農業農村生産活性化推進施設整備事業（産地づくり対策） 事業主体：北さつま農業協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全自動ガス充填包装機：事業費 10,363,500 円（県 3,290,000 円 3 市 3,223,000 円 JA 3,850,500 円） ・大豆乾燥設備：事業費 21,000,000 円（県 6,660,000 円 市 3,330,000 円 JA 11,010,000 円）
<p>活動火山周辺地域防災営農対策事業</p>	<p>39,115,000</p>	<p>活動火山周辺地域において、降灰による農作物の被害を受けている、または、受ける恐れがあると知事特認地域の指定を受けた 3 戸以上の農家で構成する任意団体に対し、防災営農対策事業を実施し、農業者の経営の安定を図り、併せて地域農業の健全な発展を図った。</p> <p>降灰除去施設等整備事業（飼料収穫機購入等） 黒牛生産組合、川北川南飼料組合、(株)グリーンネットワークとどろき</p>
<p>新規就農者育成支援事業</p>	<p>10,500,000</p>	<p>就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規就農を希望する者の農業研修を行う時の経営安定支援として、農業研修に必要な生活費用を助成することで、新規就農者等を増やし農業経営の推進を図った。</p> <p>青年就農給付金事業（経営開始型）：新規就農者 8 人</p>
<p>人・農地プラン作成事業</p>	<p>1,396,000</p>	<p>高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など「人と農地の問題」を解決するため、中心となる経営体を定め、そこへどのように農地集積するか、またその他の農業者の関り合い方を記載した計画書作成を支援した。</p>
<p>地域力発信事業</p>	<p>1,659,000</p>	<p>新物産館建設に関する可能性調査を実施し調査報告書を作成した。</p> <p>地域力発信施設可能性調査業務委託</p>
<p>農地集積協力金交付事業</p>	<p>2,300,000</p>	<p>人・農地プランを実現するために農地集積に協力する者に対して、農地集積協力金を交付した。</p> <p>経営転換協力金：協力者 5 戸 合計面積 390.2 a</p>
<p>伊佐ブランド全国発信事業</p>	<p>13,185,506</p>	<p>伊佐市で生産される農産物、加工品、工芸品等を伊佐ブランドとして位置付けるため伊佐ブランド認証制度を確立し、認定された伊佐市ブランド品の販売促進により地域産業の活性化を図った。</p> <p>伊佐米のブランド化を図るためブランド認証制度を構築し、認証基準に基づく栽培管理をしたものを認証することで、消費者が安心して購入できる環境を整備した。併せて市内外での PR イベントを開催し、制度の周知と伊佐米の販売促進活動を行った。</p> <p>伊佐米販売活動：東京、神奈川、大阪、福岡等、各地区伊佐会総会、かごしま遊楽館誕生祭、鹿児島市ドルフィンポート</p>

<p>麴用米生産拡大事業</p>	<p>4,000,000</p>	<p>焼酎原料米の産地国表示の義務付けによる業界の動向に対し、国産麴用米の確保に向け、伊佐市内の不作付地となっている水田を利活用し麴用米の生産拡大を行い、地域酒造会社への国産麴用米の継続的安定供給を行った。</p> <p>生産面積：25.6ha 生産者：132人</p>
<p>畜産関係負担金・補助金事業</p>	<p>20,303,810</p>	<p>伊佐地区畜産の振興を図るため、地区共進会や畜産振興大会を開催したほか、関係協議会等への出席や子牛購買推進活動など、生産者も含め連携した取り組みを推進した。また、優良雌牛の地域内保留や規模拡大に伴う施設整備の促進を図るなど、畜産農家の所得向上や経営安定化に努めた。</p> <p>伊佐市特定優良種雌牛保留導入事業：補助対象 101件 伊佐市牛舎施設設置事業：補助対象 5件 伊佐市肉用牛防疫対策事業：補助対象 6件</p>
<p>畜産基盤再編総合整備事業</p>	<p>13,919,600</p>	<p>畜産の核となる経営体を創出・育成するため、飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備等の促進を図った。</p> <p>第2始良伊佐地区事業参加者負担金</p>
<p>家畜飼養管理施設整備事業</p>	<p>31,834,000</p>	<p>市内養豚農家（法人）が行う施設等整備に対し支援を行うことで、円滑な規模拡大と、クーリングパドシステム等の新生産方式の導入による事故率低減及び低コスト生産の推進を図り、健全な中核農家の育成に努めた。</p> <p>肉豚生産効率化事業（補助金 50,000,000 円のうち、18,166,000 円は平成 26 年度へ明許繰越をした。）</p>
<p>農地管理事業</p>	<p>15,825,608</p>	<p>小規模な農道・用排水路等の基盤整備を行い、農家の生産意欲及び農業所得の向上に寄与した。大田地区及び共進地区の揚水ポンプ電気料、農業用施設損害賠償責任保険料、協議会等の負担金等を支出した。</p>
<p>県営農業農村整備事業</p>	<p>5,886,900</p>	<p>ため池整備事業を県営事業として施行したことによる事業費負担分である。</p>
<p>農地・水・農村環境保全向上活動支援事業</p>	<p>42,216,450</p>	<p>過疎化・高齢化・混住化により集落機能が低下する中で、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動と、施設の長寿命化のための活動を行う集落について支援を行った。</p> <p>負担金：共同活動支援交付金 28 組織 向上活動支援交付金 16 組織 交付金：環境保全型農業直接支援対策事業 補助対象 44 件</p>
<p>ほ場整備事業</p>	<p>241,198,161</p>	<p>県営ほ場整備事業の債務負担分の償還助成と、土地改良区が管理する農業用施設のうち、公共的役割を持つ農業用水利施設の維持管理費の一部について助成することで、施設の機能維持を行った。</p> <p>土地改良区施設維持管理助成事業 市内土地改良区 9 件 農林漁業資金償還金（県営ほ場整備事業） 11 件</p>

農道維持管理事業	9,921,800	受託農道以外の農道を対象とした維持管理事業。維持補修のために必要な原材料費等の一部を支給することで、地元の生活道路として通行の利便性及び農業の生産性の向上が図られた。 広域農道曾木地区道路舗装補修工事ほか2件
農地・農業用施設災害復旧事業	23,940,003	梅雨時期や台風の発生で自然災害が生じた農地や農業用施設の災害復旧を、国庫補助事業や単独事業によって施行した。 単独災害復旧工事件数：平沢津地区ほか31地区 水路災害復旧：4件、農地災害復旧：5件

4 工事の執行状況

当年度執行された主な工事は、次のとおりである。

補助単独の別	工事名	工事内容	契約金額(円)	契約の相手方	契約の方法	着工年月日	完工年月日
単独	ふるさと農道大田山野線安全施設設置工事	車線分離標既設分離標撤去	1,596,000	(有)フジスミ産業	指名競争	H25.6.5	H25.7.22
補助	土地改良施設維持管理適正化事業牛尾用水路	用水調節機製作・取付工	4,321,800 (変更分) 178,200 (合計) 4,500,000	(株)大口工業	指名競争	H25.12.17	H26.3.17
単独	広域農道曾木地区道路舗装補修工事	農道舗装補修工 オーバーレイ工	4,599,000 (変更分) 331,000 (合計) 4,930,000	(株)大菱	指名競争	H26.2.3	H26.3.20
補助	田原下田地区(水路)災害復旧工事	施設復旧(水路) ブロック積	2,467,500	(有)鮫島建設	指名競争	H26.1.21	H26.3.4
単独	前目春園地区単独災害復旧工事	復旧延長 L型水路ほか	1,092,000 (変更分) 106,000 (合計) 1,198,000	(有)南九クレーン	指名競争	H25.8.26	H25.10.4
単独	馬渡仮屋地区単独災害復旧工事	頭首工復旧 床止工ほか	829,500 (変更分) 292,500 (合計) 1,122,000	(有)共同工設業	指名競争	H25.12.9	H26.1.24

単独	荒田後庵地区単独災害復旧工事	水路復旧ブロック積ほか	1,134,000	(有) 鮫島建設	指名競争	H25.12.9	H26.2.3
単独	東市山野元地区外2地区単独災害復旧工事	水路復旧木柵工ほか	1,039,500	(有) 共同工設備業	指名競争	H25.12.9	H26.2.3

5 委託の執行状況

本年度において執行した主な委託業務は、次のとおりである。

補助単独の別	委託事業名	契約金額(円)	契約の相手方	契約の方法	契約の期間
補助	起業支援型地域雇用創造事業 伊佐産根深ネギ周年栽培研究事業業務委託	6,816,000 (変更分) △1,340,143 (合計) 5,475,857	ドリームファーム(株)	随意契約	H25. 8. 1 ～H26. 3. 31
単独	農業振興農用地地図システムの保守業務委託	210,000	東亜建設技術(株)	随意契約	H25. 4. 1 ～H26. 3. 31
単独	伊佐市菱刈生活改善センター合併浄化槽維持管理業務委託	441,000	(有) 大口・伊佐清掃社	随意契約	H25. 4. 1 ～H26. 3. 31
単独	地域力発信施設可能性調査業務委託	1,659,000	(有) リサーチ&コンサルティング鹿児島	指名競争	H25. 6. 3 ～H25. 9. 30
単独	伊佐ブランド推進マネジメント業務委託	2,992,500	(株) 鹿児島経済研究所	随意契約	H25. 6. 3 ～H26. 3. 24
単独	伊佐米宣伝広告業務委託	4,603,200	(株) 西広	随意契約	H25. 8. 1 ～H26. 1. 10
単独	25 農耕委託第3号 ため池等整備事業 木崎上池地区事業計画書作成業務委託	2,940,000	(株) みともコンサルタント	指名競争	H25. 10. 1 ～H26. 1. 8
単独	25 農耕委託第4号 農地防災事業(用排水施設整備) 五反田地区事業計画書作成業務委託	5,313,000	鹿児島県土地改良事業団体連合会	指名競争	H25. 10. 1 ～H26. 1. 8
単独	25 農耕委託第5号 里地区用排水路 測量設計業務委託	1,890,000	(有) 貴島測量設計	指名競争	H25. 10. 1 ～H26. 1. 8

単独	25 農耕委託第 2 号 伊佐広域農道除草作業業務委託	711,900	公益社団法人 伊佐市シルバ ー人材センタ ー	随意 契約	H25. 7. 26 ～H25.9.13
単独	25 農耕災委託第 2 号 農地・農業用施設災害 測量設計業務委託 大口 2 工区	525,000 (変更分) 323,000 (合計) 848,000	(有)坂口測量設 計	指名 競争	H25. 7. 24 ～H25.11.22
単独	25 農耕災委託第 3 号 農地・農業用施設災害 測量設計業務委託 菱刈 1 工区	472,500 (変更分) 266,500 (合計) 739,000	(株)狩行測量	指名 競争	H25. 7. 24 ～H25.10.31
単独	25 農耕災委託第 4 号 農地・農業用施設災害 測量設計業務委託 菱刈 2 工区	462,000 (変更分) 321,000 (合計) 783,000	(有)貴島測量設 計	指名 競争	H25. 7. 24 ～H25.10.31
単独	25 農耕災委託第 5 号 農地・農業用施設災害 測量設計業務委託 大口 1 工区	546,000 (変更分) 446,000 (合計) 992,000	(有)比江島土木 技術コンサル タント	指名 競争	H25. 7. 24 ～H25.11.22

6 負担金補助及び交付金等の支出状況

本年度において執行した主な負担金・交付金は、次のとおりである。

団 体 名	事 業 名	負担金額等 (円)	事 業 内 容 及 び そ の 効 果
伊佐市野菜価格安定対策協議会	野菜価格安定対策事業造成資金	8,572,000	伊佐地域で生産される野菜の価格を補償し、野菜生産者の経営安定と産地銘柄確立を図るために市・農協・生産者が資金を造成する。
伊佐農業公社	伊佐農業公社運営費補助事業	6,903,000	今後の伊佐の農業の核として農地保有合理化事業、農作業受委託事業、後継者育成事業等を進めており、また平成 21 年度稼働の伊佐広域堆肥センターも公社の 1 事業として運営している。
中山間地域(61 集落協定)	中山間地域等直接支払交付金	104,122,373	中山間地域などの農業生産条件が不利な地域が農業生産の維持を図り、耕作放棄地の防止、水源涵養機能、洪水防止機能等の多面的機能の確保を目的として実施する。平地との生産コストの 8 割相当額の交付金を集落に交付する。
大口地方卸売市場管理組合	大口地方卸売市場管理組合管理事業	1,386,000	生鮮食料品等の卸売のために開設された市場の管理組合の事務を共同処理するために必要な経費の一部を負担し、継続的な運営を図る。

鹿児島県地域振興公社	畜産基盤再編総合整備事業 (第2始良伊佐地区事業参加者負担金)	13,919,600	畜産の核となる経営体を創出・育成するため、飼料基盤の開発整備、農業用施設整備等の促進を図った。
始良・伊佐地域振興局	県営農業農村整備事業(土地改良事業負担金)	5,791,500	県が事業主体となって行う農業農村整備事業について、市の負担分を支出する。
鹿児島県水土里サークル活動支援協議会	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業(農地・水保全管理支払交付金)	36,636,050	地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動への支援を行う共同活動支援交付金と、農業用排水路等の補修や更新などの施設の長寿命化のための活動を支援する向上対策支援交付金について負担する。
支援対象者 (44名)	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業(環境保全型農業直接支払交付金)	5,246,400	地域温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対して、当該営農活動の実施に伴う追加的なコストを支援することで、農業分野の有する環境保全機能を一層発揮させることを目的とする。

主な補助金の支出状況は次のとおりである。

団体名	事業名	補助金額 (円)	事業内容及びその効果
むらづくり推進委員会・自治会(76件)	むらづくり事業	19,601,000	集落・地区単位で組織するむらづくり推進委員会・自治会の地域課題解決を図る。
ごぼう栽培農家(5件)	園芸振興事業 (ごぼう面積拡大事業)	483,000	栽培開始時の高額となる資材購入費・種子購入費を助成することで、新規生産者の開拓を行い、管内の新ごぼう生産拡大を目指し土地利用の推進を図る。
伊佐かぼちゃ振興会	園芸振興事業 (かぼちゃ新規栽培助成事業)	672,000	伊佐ブランドとして高い評価を得ているかぼちゃの新規栽培農家を掘り起こすために、資材購入・苗購入費に助成を行い生産拡大と土地利用の促進を図る。
伊佐市農業再生協議会	米生産調整推進事業	8,373,000	農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持することで、稲作農家の経営安定を図る。
伊佐ふるさとまつり実行委員会	農政団体等補助金事業(市制5周年記念2013伊佐ふるさとまつり)	2,000,000	生産者、消費者、関係機関が一体となり、本市の基幹産業である農業への理解を深め、伊佐市ふるさとまつりを通して本市の活性化を図る。

伊佐農業公社	伊佐農業公社運営補助事業 (産業用無人ヘリコプター操縦資格取得)	1,533,000	伊佐農業公社が実施する無人ヘリ防除事業においてオペレーターが不足しているため、新規オペレーターを育成し増加する作業委託への対応を図る。
北さつま農業協同組合ほか	農業制度資金利子補給事業	1,311,324	農業の振興と農業経営の安定を図るため、制度資金借入者に対する利子補給を行う。
市内中心経営体(7地区15経営体)及び基金協会	経営体育成交付金事業(中心経営体等施設整備事業)	31,218,000	人・農地プランを作成した地域の中心経営体が、経営規模拡大等の多角化に取り組むために必要な施設・機械の融資による導入について支援した。
北さつま農業協同組合	農業農村活性化推進施設整備事業	16,503,000	大豆乾燥設備や全自動ガス充填包装機の導入を市が一部補助したことにより、施設の能力が向上し、大豆を収穫後直ちに乾燥調整ができることによって高齢者等も作付が容易になり、26年度の作付面積が拡大した。
飼料生産組合(3件)	活動火山周辺地域防災営農対策事業(降灰除去施設等整備事業)	39,115,000	活動火山周辺地域にて、降灰による農作物の被害を受けている又は受ける恐れがある農業者に対し、防災営農対策事業を実施し農業者の経営の安定を図る。
青年就農者(8件)	新規就農者育成支援事業	10,500,000	新規就農を希望する者の農業研修時の経営安定支援として、農業研修に必要な生活費用を助成することで、新規就農者等を増やし農業経営の推進を図る。
経営転換協力者(5件)	農地集積協力金交付事業(経営転換協力金)	2,300,000	人・農地プランを実現するために農地集積に協力する者に対して、農地集積協力金を交付する事業で、プランの実行に向けた取組の推進を図る。
北さつま農業協同組合	麴用米生産拡大事業	4,000,000	伊佐市内の不作付地となっている水田を利活用し麴用米の生産拡大を行い、地域酒造会社への国産麴用米の継続的安定供給を図る。
肉用牛飼養農家(101件)	畜産関係補助金(伊佐市特定優良種雌牛保留導入事業)	13,550,000	地区内に優良種雌子牛を保留し、母牛改良を推進することで商品価値の高い子牛生産を推進する。
畜産農家(5件)	畜産関係負担金・補助金事業(伊佐市牛舎施設整備事業)	2,500,000	経営規模の拡大を希望する畜産農家の畜舎建築に対し助成を行うことで、市内肉用牛総飼養頭数の減少を抑制し、併せて対象農家の経営安定化を図る。

沖田黒豚牧場	家畜飼養管理施設整備事業 (肉豚生産効率化事業)	31,834,000	施設等整備に対し支援を行い、規模拡大とクリーニングパドシステム等の新生産方式の導入による事故率低減及び低コスト生産の推進を図る。補助金 50,000,000 円のうち、18,166,000 円は 26 年度に繰り越した。
対象地区 15 地区	農地管理事業 (市単独土地改良事業)	2,000,000	土地改良施設等の補修を行うことにより、施設の安定及び用水等を確保する。
土地改良区	ほ場整備事業 (農林漁業資金償還金)	231,115,541	県営ほ場整備事業の債務負担分の償還助成を行い、農家の所得向上及び生産意欲向上に寄与する。

7 財産等の管理状況

当課所管の土地、建物等はおおむね良好に管理されていることを認めた。

生活改善センターの利用件数

単位：グループ件数

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
大口生活改善センター	35	19	16	8	15	21	23
菱刈生活改善センター	18	2	3	7	0	25	14

11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	16	10	7	14	205
6	2	1	2	5	85

8 現地監査について

土地改良施設維持管理適正化事業（牛尾用水路用水調節機）、平原井手口地区（田）災害復旧工事、田原下田地区（水路）災害復旧工事、馬渡仮屋地区単独災害復旧工事（頭首工復旧）、むらづくり整備事業情報伝達施設整備事業（麓後地区むらづくり委員会）、家畜飼養管理施設整備事業（肉豚生産効率化事業）沖田牧場について現地監査を実施したが、いずれも良好に施工、管理されていることを認めた。

また、ため池の第1山仁田池や淵辺貯水池、獅子間野牧場について現地監査を実施したが、いずれも良好に管理されていることを認めた。

9 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、おおむね良好に整備されていることを認めた。